



## 【大学連携講座Ⅰ（造船系）】

### 《目的・ねらい》

- [目的] 普段の学校の授業では受けることのできない大学教授等による講演を通して、最新の技術や高度な技術への理解を深め、学ぶ意欲を高める。
- [ねらい] 最新の技術や高度な技術についての興味・関心を高める。



### 《実施内容》

- ◆広島大学 小瀬 邦治 名誉教授による講演  
※協力企業：常石造船株式会社

- 日時 平成30年12月3日(月) 3・4限目  
○場所 今治工業高等学校 大会議室  
○対象 機械造船科1年生 40名  
○講演 「今日の造船業とその技術」

- ・操船シミュレータの設計・開発  
(世界で最初に小瀬名誉教授が開発)
- ・産業技術の発展と経済成長
- ・20世紀における造船業の歴史的変遷
- ・世界における日本の造船業とその技術
- ・総合工学と一般工学 等



### 《生徒の感想・学んだこと》

- ・日本の技術が、世界から高く評価されていることを、改めて感じました。また、競争力を持つことの大切さを学びました。
- ・将来を見据えて、1日1時間学ぶと、10年で3650時間学ぶことができる。これだけすれば、知識や技術が身に付く。
- ・将来に対する意識がすごく高まりました。今後は、3年後・10年後のことを考えて、生活・行動していきたいです。
- ・今後は目標に向けて、自分の意思で学んでいきたいです。

### 《SPH推進アドバイザー岡田さんの助言》

日本には、省エネ船の世界トップレベルの技術や、船の生涯コストに大きく貢献する技術があること等、世界における日本の技術力の高さについて講演していただき、日本における船の重要性を生徒は感じる事ができた。また、その技術を、どの様にして身に付けるとよいか、その方法についても学んだ。

